

千葉県生涯大学校マスタープラン これまでの見直し状況

期 間	～H23 (マスタープラン策定前)	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
	—	第1次マスタープラン					一部改訂・延長版			第2次マスタープラン			(延長)
指定管理者	(株)ハリマビステム	東京リガ ルマインド	ハリマビステム・植草学園 共同事業体			(学)植草学園			(学)植草学園				
背 景		<ul style="list-style-type: none"> <li>○平均寿命の延伸により高齢者数が増加し、高齢化が急速に進行</li> <li>○高齢者自身の価値観やニーズ、行動様式の多様化</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者の健康づくりの重要性</li> <li>○高齢者が自らの健康を維持するとともに地域で助け合うことが大変重要</li> <li>○介護保険制度の見直しにより、元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支えていくことが求められている</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢化の進展と高齢者自らの「健康維持」への必要性</li> <li>○社会参加による生きがいづくりや介護予防効果への期待</li> </ul>				
目指す役割	高齢者の自己啓発と社会活動への参加による生きがいづくり	「学びと仲間づくりの場」から「学んだことを地域活動に繋げる場」へ											
検討した 主な課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>●開校以来35年が経過し、社会的役割と事業内容との不整合</li> <li>●学生や卒業生の社会活動への参加を支援する取組が不十分</li> <li>●社会環境の変化や高齢者のニーズに適合したカリキュラムになっていない</li> <li>●通信課程は、定員を大幅に下回っている</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活動学部の名称が入学敬遠になっている</li> <li>●学生層が二分化し、学びたい内容と提供する学習内容のミスマッチ</li> <li>●座学が多く実践的でないため、入学者数の減、退学率の増につながっている</li> <li>●市町村との連携の更なる充実</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の健康保持や社会参加を促進するため学部名称を「健康・生活学部」としたが、設置目的には「健康維持」が謳われていない</li> <li>●「園芸技術を活かした担い手」として対応するには、1年間では、必要な知識や技能の習得が不十分</li> <li>●地域づくり、まちづくりに貢献できる人材育成を進めるため、修業年限や学習環境、学習内容の見直しが必要</li> <li>●園芸コースの2年制化に伴い、定員や授業料の見直しも併せて必要</li> </ul>				
見直しの 概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>●修業年数・課程・学科等の見直し                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般課程と専攻課程を統合し、学部再編</li> <li>・通信課程を廃止</li> <li>・授業料見直しと学部別の設定</li> <li>・入学年齢の引下げ</li> </ul> </li> <li>●運営体制の強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの設置・卒業生組織化</li> <li>・市町村、大学等との連携</li> <li>・資格取得支援</li> <li>・地域との交流</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●学部学科等の見直し                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・生活学部への改称</li> <li>・地域活動専攻科の東葛学園への設置</li> </ul> </li> <li>●運営体制の強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習や施設等での体験が主体の実践的学習</li> <li>・地域課題、歴史、伝統技能など地域特性学習</li> <li>・健康福祉、社会福祉の2つの目的別コースを設置</li> <li>・コーディネーターの役割強化</li> <li>・地域との連携、交流、世代間交流 等</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●設置目的に「健康の保持増進」を加えるよう条例改正</li> <li>●修業年限の見直し及び定員の適正化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸コースの改称及び修業年限延長(1年⇒2年)</li> <li>・学習効果を十分高めるため、クラスの適正規模を考慮し造形学部の定員を再編成</li> <li>・地域活動の担い手育成の観点から学習内容を見直す</li> </ul> </li> <li>●授業料の見直し                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸コース2年制化による見直し</li> <li>・施設の維持管理費の受益者負担の観点から利用料金を見直し</li> </ul> </li> </ul>				
学部・学科 授業料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般課程(2年間・18,000円/年) 福祉科・生活科・園芸科・陶芸科</li> <li>●専攻課程(2年間・18,000円/年) 社会専攻・園芸専攻・陶芸専攻</li> <li>●通信課程(2年間・18,000円/年) 福祉生活科のみ</li> </ul> ※授業料は、H15から有料化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域活動学部 (2年間・15,000円/年)</li> <li>●造形学部園芸コース (1年間・27,000円/年)</li> <li>●造形学部陶芸コース (1年間・54,000円/年)</li> <li>●地域活動専攻科 (1年間・15,000円/年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・生活学部 (2年間・15,400円/年)</li> <li>●造形学部園芸コース (1年間・27,700円/年)</li> <li>●造形学部陶芸コース (1年間・55,000円/年)</li> <li>●地域活動専攻科 (1年間・15,400円/年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・生活学部 (2年間・16,100円/年)</li> <li>●造形学部園芸まちづくりコース (2年間・32,700円/年)</li> <li>●造形学部陶芸コース (1年間・58,200円/年)</li> <li>●地域活動専攻科 (1年間・16,100円/年)</li> </ul>									